

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	414	施策名	公園の整備
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	41	快適で住みやすいまち	
主担当部	都市整備部	主担当課	水と緑と公園課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民のニーズに対応した特色ある公園が整備され、多くの市民が快適に利用しています。また、地域の公園の維持管理に市民が主体的に関わっています。		
施策の方向性	1	多様化する市民ニーズに対応する公園の整備を進めていきます	
	2	地域から親しまれる市民の手による公園づくりを推進します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
清瀬駅南口地域児童館整備事業	1	未来創造課	48,111
公園管理事業	1、2	水と緑と公園課	107,097
公園整備事業	1、2	水と緑と公園課	6,893
柳瀬川回廊事業	1	水と緑と公園課	19,088
総事業費(施策の合計)			181,189

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	市民1人当たりの公園面積		目標値	3.37	3.38	3.66	3.68	3.70
	説明	—	位単 m <sup>2</sup>	実績値	3.38	3.65			
	抽出方法	所管課統計		達成率	100.3%	108.0%			
②	名称	市民による公園の自主管理の取り組み数		目標値	5	5	4	4	5
	説明	—	位単 数	実績値	3	3			
	抽出方法	所管課統計		達成率	60.0%	60.0%			
③	名称	身近にある公園は憩いの空間になっていると思う人の割合		目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	説明	—	単位 %	実績値	38.2(※)	38.2(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	95.5%	95.5%			

※③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南口地域児童館整備に向けた市民ワークショップを開催するなど、地域から親しまれる公園づくりへの取り組みを行った。</li> <li>●せせらぎ公園内に流れる、せせらぎ最下流部に位置する清瀬橋親水公園の開園により、柳瀬川回廊の回遊性向上と新たな水辺に触れ合えるスポットの整備を行った。また武蔵野の雑木林の面影を残し、自然と触れ合える中里1丁目緑地公園の整備も行い公園整備の充実に努めた。</li> <li>●遺贈地を活用した(仮称)花のある公園整備事業では、測量業務の他、市民に整備前の公園用地を活用したオープンパーク事業を行い認知に努めた。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症感染拡大前の状況に戻りつつあり、結果として各種制約事項が緩和され施策展開が活発化する。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	小中学生がボール遊びなどをしても幼児が安心して楽しめる公園整備が求められている。
	課題に対する令和6年度以降の取組	南口地域児童館整備をはじめ、幼児から高学年まで楽しめる特色ある公園整備にも取り組む
②	施策を進める上での課題	市が管理する公園は140か所あり、公園の規模や立地場所などそれぞれの特性にあった管理に努める必要がある。
	課題に対する令和6年度以降の取組	アウトソーシングの促進を図る。また公園内の安全確保として高木樹木の剪定や伐採に取り組む。
③	施策を進める上での課題	農地が多い本市においては、今後も宅地開発に伴い整備される公園が増加する可能性がある。
	課題に対する令和6年度以降の取組	宅地開発に伴い整備を必要とする小規模公園においては金銭納付に努めその財源を市民ニーズの高い大規模公園等の整備に充てる財源とするように取り組む。